参考資料1

タウンミーティング「まるちゃんカフェ」実施報告

【名称】 TM「今の明石、これからの明石」
【日時】 2025年6月26日（木） 18：30～20：30
【場所】 ウィズあかし フリースペース
【参加】 18名

【１、市からの情報提供】

・明石のまちの状況とまちづくりについて
・総合計画制度について（あかしSDGs推進計画と前期戦略計画）
・策定スケジュールについて
・まちづくり市民意識調査の結果について

【２、タウンミーティングの声(今後、市に期待する取組）と対応する計画の項目】

タウンミーティングでいただいた市民の声は、後期戦略計画の各項目の作成にあたって参考としています。
それぞれのご意見に対する計画の項目は以下のとおりです。

タウンミーティングの声	対応する計画の項目
○まちづくり戦略 ・【２】みんなの笑顔をいっぱいにする ・【11】もう１人産みたいとママが思える町に！ママの健康推進。産前産後からパパにも育児を知る機会を増やす。 ・【９】子どもが明石に住み続けたい町に！ ・【６】市民の声が行政に反映されていることを感じるため、市民の声を聞く→実施する→発信する ・【８】また来たくなる街に！観光をもっと ・【５】安全安心な街づくりを目指して欲しい ・【１】こどもから大人まで充実した生活を送る	・対話と共創によるもっとやさしいまち明石の創造ー市民の“ 笑顔があふれる明石市にー" (P11～) ・①「こどもを核としたまちづくり」「誰にもやさしいまちづくり」の深化 ・②対話と共創のまちづくりの推進 ・③人口を維持するための経済・社会・環境の三側面からの戦略の推進
○柱１　豊かな自然と共生し、暮らしの質を高める ・環境問題をみんなで考えよう…①ごみを減らすには…②ごみの分別③不要なものは購入しないようにする	・持続可能（サスティナブル）なまちへ(P8) ・循環型社会の実現(P19)
○柱２　笑顔あふれる共生社会（インクルーシブ社会）をつくる ・コミュニティ活動をする「場」はあるのに、コミュニティを生み出す「場」がない。 このコミュニティを増やすことが、物事を円滑に進めるきっかけになる ・気軽に集まることができる場所を提供して欲しい。 新たに何かを作るよりも、今あるものを最大限に活用するような対策をお願いしたい ・色々な世代の人たちがもっと集まりやすく交流しやすく！そのためにお祭りとかイベントを企画 ・会社以外の立ち位置を得るために、地域でコミュニティ形成できる仕組みをつくる ・隣近所との声かけ、あいさつ運動、見守り支援 ・子育て世代と子育て終了世代がうまく協力する仕組みをつくる！ ・お年寄りには積極的にあいさつ（声掛け） ・明石がもっとグローバルな社会を目指して欲しく思う （例：日本語学校の充実、留学生の受け入れ態勢） ・学校帰りとか朝、声掛けたいけど、不審者だと思われる可能性がある ・できた「つながり」を継続できる仕組みをつくる	・人がつながり支え合う共生社会（インクルーシブ社会）づくり(P7) ・支え合う地域づくり(P22) ・自分らしく生きることができる社会づくり(P23) ・健康・長寿の推進(P24)

○柱３　こども・若者の育ちをまちのみんなで支える ・楽しい学校づくりを登校拒否の子供たちをへらしたい ・こどもが意見を言えて現実化できる場。そしてそのような場があるなら、周知出来ていて、どんな環境のこどもも参加できる自由な仕組み	・一人ひとりに応じた質の高い教育の推進(P27) ・こども・若者の状況に応じた適切な支援(P27)
○柱４　安全・安心を支える生活基盤を強化する ・災害時に助け合うことができる人間関係をつくる ・道路環境をもっとよくする	・切迫する巨大大害への備え(P8) ・防災・感染症対策の強化(P30) ・誰もが利用しやすく安全で強靭な都市基盤の整備(P31)
○柱５　まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す ・自然を生かした娯楽施設をつくり、観光名所と転入2世代目の魅力的な仕事を創出する！（明石公園、大蔵海岸、石ケ谷公園など） ・明石公園や大蔵海岸などで音楽フェスやグルメフェスを誘致して、人々が集まる機会を作る →居場所・観光 ・音楽があふれる街にする！	・地域産業の振興(P34) ・豊かな心を育む文化・芸術の推進(P35) ・まちの魅力を生かした賑わいの創出(P35)
○効率的・効果的な行政運営 ・もっと明石市民の色んな世代の人が交流出来たり意見交換ができる＝タウンミーティングなどを増やす ・すべての市民の声が市に届くように。気軽に相談ができるような仕組みづくり。（教育問題、いじめ、ひきこもり、家庭問題など）	・市民と共にまちを創る(P38)

◆情報提供

◆各グループでの対話

◆いいねシール

◆グループ発表